

車輻ラッピング向け新製品

3M™ プリントラップフィルム IJ280 施工比較 Vol.1



テスト条件

施工者

- ・熊沢印刷工芸株式会社 高橋様
- ・車輻ラッピング施工経験：約 15 年

施工部位

- ・フロントバンパー 左

施工製品

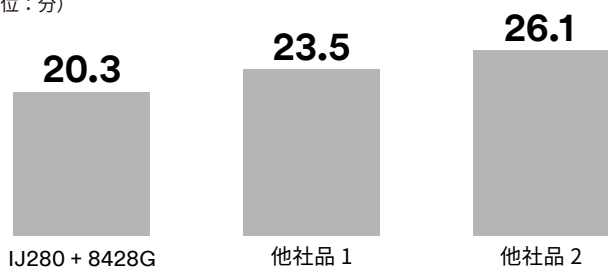
- i) 3M™ プリントラップフィルム IJ280
+ 3M™ スコッチカル™ オーバーラミネートフィルム 8428G
- ii) 他社品 1 (車輻ラッピング向け)
- iii) 他社品 2 (車輻ラッピング向け)

テスト実施日

- ・2021年9月17日
- ・約 25°C
- ・曇り

テスト結果

(単位：分)



本事例は一施工者によるテスト結果であり、内容を保証するものではありません。

施工者の声

曲面追従性が高く貼りやすい

3M™ プリントラップフィルム IJ280を触って試した最初の印象は、柔軟性が高いなという点。普段、割と早い段階からヒートガンを当てる施工方法で車輻ラッピングの施工は行っているが、この製品を使用する場合はヒートガンを当て始めるタイミングを見直す必要があると感じた。曲面に対してうまく追従するため、ヒートガン無しでも貼れる範囲が拡大するだろう。実際にどこまでヒートガン無しで貼れるかといった感覚は、何度かこの製品で施工をして身に付けていければと思う。

新しい粘着剤の実力

今回、3M™ プリントラップフィルム IJ280では新しく開発された粘着剤を採用しているとのことだが、まず位置合わせ性に影響する初期タックは従来の3M™ プリントラップフィルム IJ180mCに比べて改善しているように感じた。3M™ コントロールタック™ 粘着剤の性能は従来通りで、きちんと圧着するまではべったりと貼りつくことが無く、ストレスなく施工を進められた。圧着時のエア抜け性についても、新しいエア抜け溝のパターンが採用されているとのことだが、従来品同等以上の抜け感を確認できた。

滑らかなスキージー滑り

施工中、スキージーの滑り性がとても良くなっていることに気が付いた。3M™ スコッチカル™ オーバーラミネートフィルム 8428Gの表面性によるものだろう。この点は地味に施工時間に効いてくる点であり、かつ滑りが良いと気分も上がってくる。オーバーラミネートフィルムは3M™ スコッチカル™ オーバーラミネートフィルム IJ4116Nとの組み合わせも可能とのことだが、施工性を重視して3M™ スコッチカル™ オーバーラミネートフィルム 8428Gを積極的に使っていこう(ただし3M™ スコッチカル™ オーバーラミネートフィルム IJ4116Nも十分な施工性を確認出来たので、防汚性が求められるようなケースではそちらも使用する)。